

かいわく

昭和48年9月25日

題字・先代 藤井得三郎氏

製薬企業を思う

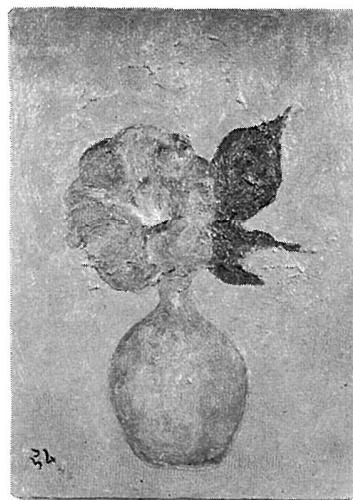
厚生省薬務局薬事課長

吉 村 仁

最近、企業に対する風当たりは極めて強い。高度経済成長の果敢な旗手の地位は地を払い、高度経済成長のもたらした弊害の全責任を企業が背負わされている感じである。

製薬企業も事態は同じである。とくに、このところ医薬品の価格についての風当たりが強い。製薬企業に対する批判は、昭和四十年のアンブル感冒薬にはじまつたといつてよいが、この事件を契機として医薬品の安全性に対する火ぶたがきられ、続いて「効かないクスリ」といった形で医薬品の有効性に対する批判がつづき、いまや医薬品の価格に対する攻撃という形で、製薬企業批判は第二ラウンドにはいったことは明らかである。

この第二ラウンドは、次の点で第一ラウンドと全く様相が異なると私



うに思われる。

二は、四十年から四十六年頃までとその後（今後の数年間を含めて）

あるいは、私の見方は主観的過ぎるとの感じを与えるかも知れないが……。

とでは、製薬企業をめぐる環境条件

が全く変っていることである。就中政治の環境、消費者運動、インフレ（物価）の三つは、製薬企業にとって無視することが許されない環境条件の激変である。この三条件は、大

は思う。
一は、安全性や有効性の問題は個々の企業個々の製品の欠陥を通じて企業の責任が問われるというものであつたが、価格問題は個別企業の個別製品の価格というよりも、製薬企業全体（とくに大企業グループ全体）の価格形成の行なわれ方や利潤を追求のやり方に問題の焦点があるよ

げさにいえば、自由主義経済体制の根幹そのものにかかわりのある事柄である。政治の環境及び消費者運動は、国民ないし消費者にとって、企業の横暴と感じられるものはもちろん、自らの不利と感じられるものまでを含めて絶対に許容しない雰囲気をもつ。インフレは目下世界の自由主義諸国を挙げての政治問題である

が、単に公共料金に

とどまらず、私企業

の個々の製品の価格

に關する問題までを

三 政治の場にひきずり

出す。医薬品の価格

問題に限っていえ

ば、製品価格と原価

玉との関係、再販制度

の存廃、企業利潤など

が論議の主要的な

となる。

れるものがどんどん飛び込んで来る時代であろう。しかしそれは異質だからといって避けて通ることはできぬ性質のものに思われる。勝手に想像をめぐらすほかないが、おそらく十九世紀後半、自由放任経済を謳歌していた企業家にとって労働組合運動や社会主義運動は極めて異質な対置物であったに違いない。（マクロ的にいえば、自由主義経済は聰明にもこれらの異質のものを同化し、現在はそれを含めて経済活動を持續しているのであるが）現代の企業經營者もおそらく十九世紀後半の企業經營者が味つたであろうほどの異質感と対応策を経験することを余儀なくされるのではなかろうか。その意味で鋭い政治的感覚が企業經營者に要求される時期ではないかと思う。

しかも、個別企業のレベルというよりも、問題が問題だけに製薬業界といふ業界レベルでの思考と行動が必要になる時期だと思う。

現在、製薬業界には、いろいろな団体があり、その性格も十人十色であるが、総じていえば、何か問題が生じた時に集つて協議をし、何がしかの結論をもつて役所に陳情をするといったパターンの行動に終始するものが多いようだ。それはそれで

よい。しかし、それだけでは足りない時が来ているのではないか。いろいろな批判はあるにせよ、家庭薬は家庭薬なりに、医療用医薬品はそれなりに、十分な社会的貢献をしていることはまぎれもない事実である。

そういう自負と自信をもって、積極的に自己の企業活動と考え方を天下に訴え納得させるほどの行動力がなければ、この第二ラウンドの閥門をくぐりぬけることはむつかしいと思う。



そのためには、業界全体としてのまとまりのある、そして理論的に説得力のある論理の展開と行動が今日ほど必要な時はあるまい。

企業活動が社会に対して開かれた形で遂行されなければならない時期を迎えて、これから企業經營者は大変だと若干の同情をしながら、感想を結びたい。

家庭薬に 直言する

ドラッグマガジン社

安藤俊市

GMP

医薬品業界の当面する問題のひとつにGMPがある。ご存知のように

週休二日制

次に週休二日制の問題がある。これ

は医薬品業界だけの問題ではない

が、現在薬業界で完全実施している

のは塩野義製薬だけで、推察するに

来年一月があるいは三月以降は大手

メーカーは週休二日制を完全実施す

ると私はみている。大手メーカーの

みならず公共、金融機関等が実施す

る中で我々はどうしたら良いのであ

ろうか。このままでは労働者が定着しないであろう。労働者の売手市場は依然として続いている。そういう

ことで週休二日制が強要されてくる。

遠からず卸業も週休二日制にしなければ労働者が定着しなくなるであ

うと思う。

これは一九六九年にWHOが世界各国に勧告した医薬品の製造と品質保証に関する規制であるが、これは自動車業界におけるマスキーフ法のようなものである。マスキーフ法の場合はその基準に合わない車は造つてもらわなくとも結構ですと言いつつ、医薬品においても同様の事が言われるのではないかと思う。ここで理解していただきたいことは、自分で造つた薬を自分で品質を分析試験するだけの力がなければ困るところであるが、このままでは労働者が定着しないであろう。労働者の売手市場は依然として続いている。そういうことで週休二日制が強要されてくる。

企業活動が社会に対して開かれた形で遂行されなければならない時期を迎えて、これから企業經營者は大変だと若干の同情をしながら、感想を結びたい。

薬の背番号制とオン・ライン

次に薬の背番号制の問題がある。

まもなく薬の背番号制が完備される。これはいうまでもなくコンピュータをフルに活用するためのもので

あり、来年の上旬には二～四社がそ

の本社と全国の代理店をオンラインで結ぶことになると思う。この背

番号制とオンラインはどちらもお

さず前述の週休二日制とGMPに対応するための合理化である。GMP



以上の様な状況下で進行していることに薬効の再評価がある。これはおそらく昭和五〇年をメドに進んでいると思われる。それと平行して一般用薬の基準化が進んでいる。これはその商品を販売するのに薬剤師や薬種商の職能を必要としないということであり、誰が販売しても安全な医薬品が大衆薬、一般薬であるという方向へ進んでいるということである。さらに昭和五〇年五月には資本の百パーセント自由化が行われる。また、時を同じくして特許法が製法から物質特許となる。あらゆる物が昭和五〇年に一挙に飛び出してくる感がある。

政局の不安定が招くもの

どこからみても政局は不安定である。参議院は与野党のバランスがくずれてきており衆議院においても民主党が負けるとは思わないが他党との差は僅差となる。こういう時に政治家は何を考えるであろうか、奮勇ないと思う。コンピューターのオンラインは代理店からさらに大病院、量販店へと伸びゆくであろう。このような中で家庭薬はどの様に扱われるかであろうか問題ではないかと思う。

大きな変革は昭和五〇年に

以上の様な状況下で進行していることである。

ことにはどういふべきではなかろうか。

おそらく昭和五〇年をメドに進んで

いると思われる。それと平行して一

般用薬の基準化が進んでいる。これ

はその商品を販売するのに薬剤師や

薬種商の職能を必要としないといふ

ことであり、誰が販売しても安全な

医薬品が大衆薬、一般薬であるとい

う方向へ進んでいるということであ

る。さらに昭和五〇年五月には資本

の百パーセント自由化が行われる。

また、時を同じくして特許法が製法

から物質特許となる。あらゆる物が

昭和五〇年に一挙に飛び出してくる

感がある。

いま、日薬連の広告委員会の欧米広告事情調査団（津村重孝団長）がニューヨークにいるはずであるが、これは皆さんのが真剣になって制作したCMを役人の感情次第でボツにされてしまうのは困るであろうから、第三者の立場から「映倫」に相当する様な「薬倫」を作つたらどうかと、松下局長に私が提言したことに端を発している。

れるのではないかと思う。その時に

なって、大衆薬というものはどういふべきではなかろうか。

か考えてみるべきではなかろうか。

「薬倫」のこと

いま、日薬連の広告委員会の欧米広告事情調査団（津村重孝団長）がニューヨークにいるはずであるが、これは皆さんのが真剣になって制作した

CMを役人の感情次第でボツにされてしまうのは困るであろうから、第三者の立場から「映倫」に相当する様な「薬倫」を作つたらどうかと、松下局長に私が提言したことに端を発している。

そういうことを考慮して販路、販促計画を立案しているかどうか疑問である。それを売つている御の正体をどこまで知っているかも疑問である。問屋がこちらを向いて売つてくれるような状態の仕事を自分達はしているのか、何故売つてくれないのである。

か、分析したのかどうか疑問である。

家庭薬問屋はセールス一人当たり一ヶ月どの位の経費を必要としているだろ

うか、資料を分析してみると次の

現実の問題として今日、明日はどう

なるのか。どういう販売体制を布いたら良いのだろうか。

現実の問題として今日、明日はどうなるのか。どういう販売体制を布いたら良いのだろうか。

セールス一人当たり給与、車のガソリ

ン代、消耗品代……等々で一ヶ月約二十万円必要である。さらにセール

スのバック要員は一人当たり・五人

・七人必要で、その経費を十五万円みなければならぬ。

そのセールスの一ヶ月の実働日数は

平均二十日であるから一日当たり、一

れのではないかと思う。その時に

はなかろうか。

例えば、同じ様な商品が何社からか発売されたとする。この場合皆さん

のとでは相当な違いがある。チエー

ン・メーカーからしたものとし内

容が同じであつたなら、とても勝てないであろう。

そういうことを考慮して販路、販促

計画を立案しているかどうか疑問である。それを売つている御の正体を

どこまで知っているかも疑問である。問屋がこちらを向いて売つてくれるような状態の仕事を自分達はしているのか、何故売つてくれないのである。

か、分析したのかどうか疑問である。

家庭薬問屋はセールス一人当たり一ヶ月どの位の経費を必要としているだろ

うか、資料を分析してみると次の

現実の問題として今日、明日はどう

なるのか。どういう販売体制を布いた

ら良いのだろうか。

セールス一人当たり給与、車のガソリ

ン代、消耗品代……等々で一ヶ月約二十万円必要である。さらにセール

スのバック要員は一人当たり・五人

・七人必要で、その経費を十五万円みなければならぬ。

そのセールスの一ヶ月の実働日数は

平均二十日であるから一日当たり、一

万七、五〇〇円の経費がかかることになる。一人のセールスは平均三〇〇円を担当しているが一日平均訪宣店数は十五店である。つまり一店を訪問するのに一、一七〇円必要となる。また、そこで受注した商品を配達するのに配達料が四〇〇円かかる。ということは、一小売店で一回の受注で納品するのに一、五七〇円かかるということになるわけである。

こう考えてみると問屋のセールスは、売れるかどうかわからない商品を説明しているわけにはゆかないし、ムダだと思う。現状の厳しい状態の中では、そういうことをしていたらペイしないのである。問屋の合理化についてメーカーからいろいろと意見があるがメーカー側の考えでは問屋は経営できないのである。

いつまでも問屋をドレイ扱いする様な考え方は通用しないし、改めてもらわねばならないと思う。以上の様な問屋の現状を前提として各メーカーは何をしなければならないか真剣に考える時期であると思う。

協業化

かつて、龍角散、太田胃散、救心、津村の四社が連合で広告をやり始めたことがあった。しかし販売までは

いかなかった。もし四社が販売の窓口を一本化してやつたら小売店と四〇店を担当しているが一日平均訪宣店数は十五店である。つまり一店を訪問するのに一、一七〇円必要となる。また、そこで受注した商品を配達するのに配達料が四〇〇円かかる。ということは、一小

売店で一回の受注で納品するのに一、五七〇円かかるということになるわけである。

今日の販売促進の決め手は何であろうか。私は値段付けと末端価格維持だと思う。

（昭和四十八年六月二十六日）

販売対策委員会主催講演会要旨

初陣の記

一お礼にかえて一

森 下 泰



ざいません。

私は、いま、あの選挙期間中に寄せられた暖いご支援に、どのようにして、お応えすべきか頭を悩ませております。当選させて頂いておれば、それなりに、ご恩報じできたと思いますが、現在の私には、皆様のお声を私自身が国政に反映できるすべを持ち合わせておりません。

投票日に、雨天にも拘わらずわざわざ投票所へ足を運び“森下泰”と貴重な一票を投じて頂いた方々、街宣車に手をふって声援して頂いた方、”桃太郎”といつて車を降り、

真夏の太陽がカーッと照りつけ、空には入道雲が、そびえている。私は、いま、あの入道雲のように雄々しく、たくましく立ち上がろうとしています。

赤間文三先生の急逝に伴う参議院選舉であるが、大阪地方区の補欠選舉において惜敗してしまったことは非常に残念であるが、次の機会にはぜひ

（

業界の代表として当選されるようになります。この機会に皆さんの御協力ををお願い致します。

正直に申しまして戦ったからには勝利を、わが手中におさめたかった。しかし私は常常結果よりも、その経過を大切にします。あれだけの多くの皆様に昼夜をわかつたず手弁当で働いて頂いたのです。男子一生の本懐と申して、けつして過言ではございません。

し「頑張って下さい」と声をかけて下さった主婦の方、目に涙まで浮かべて手をしっかりと握りしめて下さったお年寄り、さらに選挙事務所で朝早くから夜遅くまで働いて頂いた方……これらの皆様に、どうお礼を申し上げてよいのでしょうか。苦吟しております。

選挙期間中には、こんなこともありました。

“桃太郎”の時に、ついつい私は薬局、薬店の前に立ち止つたり、のぞきこんで“よろしく”を連発しました。また遊説から事務所へ帰った時も、ついつい薬業界の皆様の所へ足が向きます。遊説中には“遊説隊長”から「薬局ばかりでなく、他のお店にもアイソをふりまして下さい」と叱られることが、よくありました。

しかし、これには私のいい分があります。選挙期間中は候補者は何もいわずロボットのように動いておればいいと聞いておりましたので皆様のご指示どおり動いたつもりです。でも私が薬局、薬店に、ついつい足を運び、事務所で薬業関係の顔を拝見しますと、ついつい足が向くのは人情というものです。私は薬業界の人間です。祖父の代から薬業界の末席をけがさせて頂いているのです。

ますと周囲をかこまれ、ヤジをとばされ、ひどい時にはツバまで、はきかけられました。このような戦場から帰ってきました時に、永年、ご指導を頂いている薬業界の皆様のお顔に接しますとまるでひな鳥が親鳥のふところに飛びこんで甘えたくなる



今回の参院補選は一地方区の選挙でなく、文字どおり各政党が総力をあげて戦った“天下分け目の戦”だったのです。したがって一度、事務所を飛び出しますと敵陣なのです。もともと事務所の内部にも敵方のスペイガ潜入していた証拠があるとも聞いていますが、街頭で演説しております。

ただ今回の初陣で痛切に感じたことがございます。

それは、あまりにも政治が悪いということです。つまり政治の貧困でござります。物価高、住宅難、通勤地獄など生活の不備は、つのるばかりません。

政治をよくする、国民のための政治をするといった基本を横に置き忘れてビラ合戦を演じていても国民の真の信頼はえられません。国民の声を反映する政治が行われねばなりません。

幸い、私は薬業界の皆様から暖いご支援を受けております。

薬業界の声を国政に反映すべく今後とも頑張りたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

元老に聞く

(第四回)

三宝製薬 渡辺久吉社長

編集部 友田 真二
玉置新治

ような心情が無意識のうちにおこつていたのでしょうか。

薬業界の皆様、本当に本当に暖いご声援を有難うございました。

このご声援に対するご恩返しのためにも私は、けっして一度の敗戦で初志を投げ出しは致しません。決意を新たに再出発致します。

ただ今回の初陣で痛切に感じたことがございました。

それは、あまりにも政治が悪いということです。つまり政治の貧困でござります。物価高、住宅難、通勤地獄など生活の不備は、つのるばかりません。

政治をよくする、国民のための政治をするといった基本を横に置き忘れてビラ合戦を演じていても国民の真の信頼はえられません。国民の声を反映する政治が行われねばなりません。

「元老に聞く」は、松田金之助氏がご所用でご欠席のため、今回は鼎談の形となりました。

時効となつた当時の秘話を淡々と語られる渡辺さんは、ご健康そのもの、壯者を凌ぐ若さに溢れていらっしゃいます。みせて下さった体操のしなやかさ。とてもお齢とは思われません。「元老じゃないよ。」と仰つしゃる通り、現役社長の気迫のこもつたお話に、窓外に暮色の迫ったのもに気付かず、長居してしまいました。

いたしました。

友田 今日は「かていやく」の編集部から、元老として貴重なご体験などを拝聴したいと存じまして参上いたしました。

渡辺 私は元老なんてもんじゃありませんよ。社員と一つになつて今

でも働いているんですから。

さて、私の生まれは新潟県西頬城郡青海町大字歌ですが、一歳の時に糸魚川に移りました。生家は、家の

周りに六、七本の松の木があり、その下を小さな川が流れっていました。川に沿った水田は遠く山の方までつづいていたと記憶しています。美しい自然環境の中で育てられたわけですね。

母がよくいいたことなんですが、四ツ辻では小便してはいけない、四ツ辻には神さまがいて、小便したら罰があるというのです。このことは、私に強い抵抗感をおぼえさせました。私はわざと小便をして、試してみました。母に逆らうのではなく、神仏の真意を試してみたい、そんな気持からでした。

私は今でも信仰は持っていませんが、それは信仰が無用だというのではなく、信仰という心の杖がなくて



兄は病院を経営していましたが、借金で経営難に陥り、くさってましたんで。私は苦学しましたから、山

そこで、私は兄の収入以外の収入を考えようと、花屋をやめて病院を手伝いましたが、借金の利息は払えません。元金を返すことができました。

義」で行こうと決めました。特約店の近くの薬局には売らないという主義です。特約店の薬局のスタンプを借りてチラシを撒きました。

共同水道というのが当時ありました。たが、そこでおかみさん達が、文字通り井戸端会議をやっている、そこでトフメルの宣伝を一席やって、特

もう一人歩きできるからなのです。そ
うした身心の健康を保つためには、
心の修養によって、真理への道を探
求し、真理に沿って生きる努力をし
なければならぬと思っています。
父は電信工夫でしたが、月給をそ
のまま母に渡さないので、母はずい
ぶん苦労したようです。借金して駄
菓子屋をひらき、烟仕事をしたり、
蚕を飼つたりして、母は苦労のしつ
づけでした。父が晩酌をやって、機
嫌のよい時など「お前の好きなもの
は何でも買ってやる」といわれ、私
は何も欲しくない、ただんちやん
(父)とおっかん(母)とが仲よく
いて欲しいといったことをハッキリ
憶えています。

つまり、今日の私が平和を求め、
それが何よりも尊く思うのも、争い
ごとを嫌う気持も、こうした生活の
中で育てられたのでしょう。

トフメルを発売した動機ですが、

形高等学校（旧制）へ入学したのは二十四歳でした。三年二学期がすんだ時でしたが、現在の制度の下では芳しくないと烙印を押されましてね「家庭の都合により……」という届を書かされ、論旨退学になつたんです。そこで、病院の方を手伝つたり花が好きなものですから、六百坪（二反歩）の花畠を作り、甲州街道ヘリヤカ一に積んで行つて、花を売つたりしていました。今、料亭やホテルに貸植木屋が入つてますね、あれをやろうと考えたこともあります。くさつていた兄は、ちょうど募集があつたので、朝鮮へ高等官七等待遇で行くことになり、官報にも出ました。私は、兄に「日本民族の大陸開拓の礎のために、朝鮮に骨を埋められたが、断わることになりまし

漏性湿疹その他何にでも効く薬の発売を考え、兄の名で許可をとりました。風呂屋の番台で売つてもらえば手つとり早いと思ったのですが、半年たつても実績が上がりません。やはり「餅は餅屋」だと、薬屋さんへ行くことにしましたが、薬局へは気がひけて行けません。薬店なら話しゃすいので、薬店を廻つて歩きましたが、どこでも共鳴はしてくれるのですけれど、あんまり積極的には売つてくれないので。結局、薬店より薬局だと方針を変え、先ず百人町の芙蓉堂薬局へ行ってみました。本郷の芙蓉堂の兄さんです。この芙蓉堂では一ヶ月二ダースも売つてくれましたので、勇気百倍し、自分で拡張に歩き廻りました。

約店へ買いに行かせるんです。薬局では、一人、二人とトフメルを買ひに来るものですから「サクラを使つてゐるんぢやないか」と聞くのです。「サクラはサクラでも本桜ですよ」といいましたがね。（笑）

その時薬局と約束して、問屋へは御さないといったことは今でも守つています。問屋へ卸すと乱売のもとになると思うからです。メーカーとして、独特のやり方を開拓して、ずっと続けてゐるわけです。当初は三人の者を使っていましたが、今は二百七、八十人の社員がいて、みんな健康なんですよ。

ところが、戦争が始まりました。原料は窮屈になり、現金買ひにはなるし、買い溜めもしなければならない。おかげで金融も覚えましたよ。

企業整備ということになつて、大正製薬の上原君、エスエスの白井君が世話人になり、チエーネメーカーだけの会を松本楼で開きました。私は協力体制でなければ駄目だと力説して、共同体を作ろうと決議したんです。家内工業のも入れたら千二、三百もある企業体をたつた三つ四つにしろという整備要項なんですかねえ。

これが運動の始まりで、売薬工業

組合といつしょになり、売薬工業組合を中心にして、我々が参加することになり、私から理事が七人加入了。

別に、ライオンの山崎専務、救心の堀君たちのグループがあり、それにも呼びかけて、売薬工業組合に合流しました。

その他、資生堂製薬部、花王石鹼たちのグループもあつたんです。三

大臣でも修正できないというので、小島氏の報告によると、要項は厚生省のなかで、内務省の中に机を持つていて一種の隠密だったんですよ。廊下トンビなんかじやないのです。この男には随分たかられましたよ。（笑）



藤井さんは「お金のことなら遠慮なくいって下さいよ」と仰っしゃされて、説明してあげました。

この整備要項というのは、実体は廃業整備なんですね。警視庁とすれば、廃業によつて失業者が出るのは、治安面白くないから反対です。警視庁が反対なんだから強いてよ。

さて、當時の衛生局長は加藤於菟丸氏、宮田課長、勝矢技師、高田浩運事務官らでした。その人たちが、半年以上、すつたもんだの末、松

永伝骨という政治家が大阪にいまし

たが、松永さんから「使える男が一人いるが、癖があるので責任はもつてない」といって紹介されたのが小島竜興という男です。湯浅東京府知事や大政翼賛会副総裁の後藤文夫氏と会つて、その紹介で鮎川勝六さんとも話し合つたんです。ところが、

たのです。

竹内技師は「自主的にやつて見なが」というのです。整備要項には触れないんです。「見当がさっぱりつきません」と私がいつても、「指示するわけには行かない」と先生はいわれるんです。そこで「国定忠治の伯父さんは十手は持つていたけれど、甥を可愛がつたじゃありませんか。せめて方向ぐらい教えていいでしょ」と食い下がりましたら「せめて百……」と洩らしたんです。

私は藤井さんに「私見ですが、百以下にしましょ」と相談して、自主的に整備要項を我々だけで、組合で作つたんです。それからは、武藏徳治郎君と、統合や買収の斡旋に東奔西走しました。とうとう七十一になつたんです。その書類を持って竹内先生に会つたら、驚かれましてねえ。

ある時、竹内先生がしょんぼりし

二郎氏が課長、竹内甲子二氏が技師です。高田事務官は病氣で、竹内技師が事務官を兼ねた恰好でした。

私は佐倉宗五郎の気持でした。何時でも腹を切る覚悟でしたから、怖いものなんかありません。この異動

てるんです。聞いてみますと「売薬法がなくなってしまったので、売薬がなくなつたんだよ」といわれたんです。医薬品一本になつてしまつて判りません。

当時は一切が統制ですから、配給を受けるためには、物動計画にのせる心要があるわけですが、売薬法がなくなつてしまつたので、統制組合が出来なければ、原料の配給が出来ないという問題が起つたのです。

私は、竹内先生に「いまさら統制組合ができないとなると、大変なことになりますよ。ムシロ旗持つて、厚生省へ押しかけますよ」といいました。

ところで、議会で有力な代議士からの質問を受けさせることは慣例があるので、その質問を川崎克先生に頼ることにしたんです。大正製薬からゆずり受けた木村見吉氏に売薬の歴史を書かせたんですが、うまいもんでしたね。

それを持って、川崎先生のところへ行つて、売薬がなくなるという事態を説明したんです。さて、議会での川崎先生の演説は、滔々として、じつに見事でしたねえ。この時の局長の答弁は今でも忘れません。

「大衆向けの薬は、その特殊性にかんがみ、別箇の取扱をする」といふものでした。

法律からは売薬はなくなつたが、家庭で使うのだから「家庭薬」にしたらと私が提唱して、それが慣用語になつたのです。「大衆薬」という言葉も使われていますが、何だか下民の薬という感じがします。どこの家庭でも使うのだから、「家庭薬」の方が親しみがある、と今でも私は信じています。

さて、東京だけはまとまりましたが、大阪、富山、奈良、名古屋あたりでは、地域別に組合を作るつもりだつたんです。そこで、全国から集まつて、亀清で代表者会を開きましたが、意見がまとまらない。臨席の木村課長は言葉荒々しく「一致していないじゃないか。やり直しだ」と憤慨しました。富山の金尾さんはそのショックで脳貧血を起し、名古屋の今堀さんは責任感の強い人ですから、顔色を変えて心配しましてね。

それからは、富山を振り出しに、京都、神戸を廻つたんです。ところが、大阪だけはどうしても承知しない。大阪は自分たちだけでやると強気なんです。大阪へ私を呼んで、有

田二郎氏等と私を会わせて置いて、聞きに行つたんです。そして、帰つたの

法律から「口拭つて、がらり」と態度が変つて、急に丁寧になり、全国一

本の方針に協力するというのです。

東京で東京、大阪、地方代表の方方が協議しましたが、なんでも神田の寄席のような所でしたね。大阪は森平兵衛さんを推すし、東京は藤井さんを推してゆづらない。

私は、かねて竹内先生から内意を受けていたのです。それは、「わか

もと」の長尾欽弥さんです。然し、

このことは極秘だから、しゃべるわ

けにはいかない。私は「面子にこだわっているときじゃない」と両者を

説き伏せて、とうとう長尾さんに決定しました。

長尾さんは、それまで業界では顔を知られていなかつたけれど、軍部にはすごく顔がきいていた

んです。軍部に顔のきく人は一人しかいない。当時、大した勢力だった

方とが協議しましたが、なんでも神

んです。しかし、長尾さん自身は、何にもいきさつを知らないから、気をよくしてましたよ。（笑）

局長を招待するにしても、料亭ではうるさいので、長尾さんの自邸へ

よんで、新橋、赤坂のきれいどころを呼んだりしてね。（笑）

専務理事が竹内先生、「わかもと」の岡田正二さんと、木村見吉の両氏が理事でした。この木村というの

が、物資の横流しとか、渋谷で料亭を経営しているという噂もありまし

たが、統制がなくなつてから辞任せました。世田谷にあった宿泊所は焼けなかつたが、東京家庭薬組合を再興しようということになつて、竹内先生のすすめで、玉置弘三さんを理事長に、という内意を受けました。

私一人ではからうわけにいかないので、藤井さんの諒解を得て、初代理事長に推し、東京会館で発足したの

です。

ちょうど、新川に焼けビルがあり



まして、地所つきで二十五万円で、安いいんです。堀君が「組合が買わなければや俺が買うよ。」といったのを

耳にはさんだので、買う決心がつきました。玉置さんから五万円借りて手金を打ち、手に入れました。五十

万円の基金がなければ、と臨時総会を開いて、募金したところ、六、七十万円も集まつたんです。

終戦直後、私は公定価格の委員長をやりましたが、マル公を決めるの年に一年もかかって、やっときまつた頃に、またマル公が変るという、馬鹿げたもんでした。

私は物欲のない人間ですから、統制時代には、原料のワセリン不足でずいぶん苦しんだものです。

うちの社員からは、そんな役目を社長がやっていなければやりいいのにと怨されましたよ。(笑)

そんなわけで、私は一切空(くう)一だと思うのです。能書(のうがき)は要らない。能書(のうしょ)でたくさんですよ。(笑)

友田 どうも長時間ありがとうございました。

大変面白いお話を種々伺いましたが、時間の関係で残念ながら失礼いたしました。

座談会

O B 大いに語る

出席者

小池三郎氏

高木薬品(株)社長

弘田良雄氏

元(株)竜角散常務取締役

玉野朝太郎氏

元(株)太田胃散(株)社長宣伝部長

畠文雄氏

元(株)堀内伊太郎商店店取締役

元和光堂(株)専務

王置新治

元同社営業部長

聞き手(編集部)

友田真二

比留間章

於組合会議室
昭和四十八年七月九日

友田 本日は皆様お忙しいところをこ出席下さいまして恐縮でござります。ことに弘田社長は決算の中をとくにご参加頂きまして、厚く御礼申し上げます。

きょうのテーマは「O B 大いに語る」ということで、本舗家庭薬でござる躍進当時の思い出をお話して頂きた

りますか? 初代、二代、三代、現社長と四代の社長に仕えたことになります。

玉野 私は、メーカーといえばメー

カーラなんですが、昔、実業薬剤師会(実薬)というのがあります。菊地三之助という小売屋さんが牛耳っていました。チエーンの元祖でしたのでしょう。会員組織で、赤菱印という薬を会員に卸していました。東京だけに限っていました。太田信義薬房の太田信義さん、當時大木合名にいた大木良輔さんなどと一緒に統合体を作つて、東興製薬というのがありました。事務所は京橋の喜谷さんの二階にありました。焼けたから太田胃散に移ったわけです。

私は、自宅が牛込でしたが、戦災に会い、田舎に引っこんでいたんですね。当時、太田胃散本舗は、東興製薬小石川製造所といつてました。私は、実業薬剤師会の実績を持って東興に合同したんです。

罹災後は、原材料難で製剤ができず、東興製薬の事務所に出ているうちに何となく太田胃散に入つてしまつたという次第です。

ですから、皆さんとお近づきになつたのは戦後ですよ。 入社当時は、現副社長が兵隊に行



小池氏 池氏

畠

弘田氏

王

友田真二

比留間

章

いとります。

畠 私は大正六年に堀内商店(現

・堀内伊太郎商店)に入店しました。初代店主が同郷の出身で、来る

ようによくと言われ、それからずっと勤務しています。もう五十有余年にな

ります。もう五十年になります。

入社当時は、現副社長が兵隊に行

つてまして、営業の方は、皆さんご承知の中川さんがやっていました。

小池 私は、昭和二十年十二月に藤井得三郎商店に入社しましたが、

その前は、住友金属のプロペラ製作所にいました。終戦直後は虚脱状態だったんですが、家内が藤井の方の関係で、入社したのです。

弘田 私は、昭和八年学校を出るとすぐ和光堂に入り、一年半ばかり工場にて本社に戻ったとたん兵隊にとられ、前後三回召集されたんです。会社に戻って戦中統制から占領統制へとその方へ出向ばかりしていましたので、殆んど和光堂にはいませんでした。

戦後、占領統制が終つて和光堂に戻り、営業部長になったわけですが、当時は流通がてんやわんやで、神田周辺にはブラックマーケットが軒を並べていた時代です。

畠 戦前は、どちらの本舗のご主人も殆んどが番頭さん任せで（例外はあったが）出入の原料屋さん、印刷屋さんなんかご主人の顔を見たことがないなんて言っていましたよ。ご主人は、旅行とか碁会とかね（笑）なるほど、番頭さん任せですね。

畠 まあそういうことで。（笑）

当時の本舗売薬は、竜角散、太田胃散、中将湯、実母散、清心丹、宝丹、安川コロダインなんか錆々たるものでしたね。

頭痛薬では、テーリン、回効散といつたものがあり、新興売薬として、

トッカピン、わかもとなどよく売

貼り薬では、妙布が代表でした。

小池 うちのフミナインとかね。

（笑）

関西には、仁丹、ロート、大

学、奇応丸、こちらでは救命丸。

前は家伝薬で、秘方だったんです。

太田胃散も戦争末期と終戦直後に

は、重曹がなくなつて弱りました。

その内厚生省が、胃腸薬、感冒薬等

の製剤の統一処方を作りました。例え

ば、胃腸薬第一、第二、第三とい

い、内容は、牡蠣粉、白陶土、炭酸

マグネシウム、当薬末等で、内容量

により区別したんです。

△△胃散というような名前でした。

小池 藤井の自宅が全国家庭薬統

制組合の事務所になつてまして、私

なんか狭い所で仕事してたんです。

戦後に、厚生省の分室が白金台町に

ありましてね、私はそこに日参しました。

銘柄は変りませんで、○○胃散、

△△胃散というような名前でした。

起きましたが、それを境に、売り手市場が買い手市場に変つたんです。

需給のバランスが変わったわけです。

弘田 和光堂では、家庭薬の方は

藤原がやっていまして、私はよく知

らないんです。私は、専ら育児用栄

養品・乳製品の統制団体に出向して

いましたから、薬には余り関係がな

た。カフェインもないし、沈降炭酸カルシウムと、この三つには弱りました。当時、アルミを持つている会社とは、十数社と取引してたものです。

玉野 太田胃散の工場は焼けなかつたから、若干の原料はありました

が、品不足で、どちらもそうでした

うが、作れば作つただけ売れたもの

です。

その頃は、原材料の仕入も現金な

ら売るのも現金でした。今からみれ

ば嘘みたいな話ですが、問屋さんが

買ひに来えたんですよ。（笑）

原料の漢薬の輸入は、G H Qが草

根木皮は薬でないとして許さない

です。その代り、香辛料なりよいと

いうので、香辛料として輸入したも

のを薬の原料へ廻していたわけ

です。

小池 朝鮮事変が昭和二十五年に

起きましたが、それを境に、売り手

市場が買い手市場に変つたんです。

需給のバランスが変わったわけです。

弘田 和光堂では、家庭薬の方は

藤原がやっていまして、私はよく知

らないんです。私は、専ら育児用栄

養品・乳製品の統制団体に出向して

いましたから、薬には余り関係がな



玉野 畑 氏 氏 氏

かつたんです。

ります。

ボンラクト（植物性たん白）とい
うミルクの代用品を作りましたが、
生後六ヶ月までは全乳を配給し、離
したのです。もと都の小林彰衛生局
長の指導で作ったのですが、その
後原料事情が悪化し、小児科の権威
が集まって澱粉七十%に魚粉砂糖等
を配合した大変な規格品が出たこと
もありました。（笑）しかし東京都
だけは、小林先生の指導で、大豆製
品でした。

占領統制時代になって、大豆製品
も内容がよくなり、「育児食」とし
て七ヶ月以降の赤ちゃんの配給品と
なりました。

そこで、滋養糖、マルツエキス、
ビオスマールにガラクトサン（たん
白乳）、アトロゾン（牛酪乳）を確
保するために、これ等を医薬品にし
ようと「乳幼児治療剤」という名称
をつけ、厚生省、小児科学会の指導
により生産に入ったわけです。

確かに統制解除後も、これ等乳幼児
食医薬品は、そのままだったと思いま
す。

現在は、滋養糖類は粉乳の中に入
れてあって、内容も植物性脂肪を中
心にして母乳に近いものになってお
ります。

マルツエキス、ガラクトサン、ア
トロゾン等は、今でも少しずつ出て
いるようです。

友田 それでは、先程も少し出た
友田 ようですが、市場が売り手から買
手に変わった頃のお話をどうぞ。

玉野 あの頃は、工場で製造してい
る所へ問屋さんが来て、順番を待つ
て思うように製品ができませんで
ね。宣伝したくて金はないし、足
を棒にして問屋さんや小売屋さんを
廻りました。昭和三十年頃ですか
ね。

玉野 そう、そうでした。そのス
ポットを一週間に三回電通に申し込
んだんですが、蓋をあけてみると、
福助足袋が帶で買ったというので、
駄目だというのです。それで、正路

喜社の堀さんに頼んで、正午のニュ
ーイヤー会という会ができる、これが
さですから広告のスペースなんかあ
りません。

玉野 宣伝の方ではラジオは、ず
い分効果があったですね。終戦直後
は新聞が小さくて、今の半分の大き
さですから広告のスペースなんかあ
りません。

玉野 一月のあとを週一本やっと貰いま
してね、三千円のお札を代理店に出
しましたよ。（笑）

玉野 その後、ラジオの普及に伴ない、
公開録音を各地でしました。竜角散
も同じでしょう。

玉野 「竜角散」という字が、古いとい
う感じなので、若い層にも訴えよう
と、新しい感覚、新しいイメージ作
りを考えましたね、余白の多い新聞
広告を作ったんですが、老人に叱ら
れましたよ。（笑）

玉野 まあ、竜角散の場合は、宣伝で売つ
たことになりますねえ。

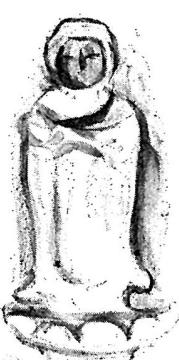
玉野 友田 家庭薬が、値崩れした時代
がありましたがね。

弘田 医薬品は、「多品種少量生
産」の特売でした。太田胃散は、それま
で特売というものはやったことはな
い。

弘田 宣伝広告にあるという信念をもって
おられた。私は、昭和二十六年に、
広告を含めた営業をやらしてくれと
頼んで許しを得ました。偉いと思う
のは、当時、毎日夕方の七時十五分
に録音ニュースというのがあって、
確かに三回で月二百六十万円という經
費でしたが、これを許してくれたん
です。代理店と相談して、「ゴホ
ンといえば竜角散」を作ったのです
が、これが大当たりました。

かつたんです。（笑）

宣伝広告にあるという信念をもって
おられた。私は、昭和二十六年に、
広告を含めた営業をやらしてくれと
頼んで許しを得ました。偉いと思う
のは、当時、毎日夕方の七時十五分
に録音ニュースというのがあって、
確かに三回で月二百六十万円という經
費でしたが、これを許してくれたん
です。代理店と相談して、「ゴホ
ンといえば竜角散」を作ったのです
が、これが大当たりました。



産」が基本道だと私は思っていますね。マスプロはできても、これを受けるマスセルの形はできていな、こうした歪んだ形だから、いつもでも乱売、乱売なんです。

家庭薬の方は、同じ品種で競争するものは余りありませんがね。家庭薬は、地道に処方を改善しているし、宣伝はする、一品を守る努力を続

けている、不思議な息の永い商品だと私は思いますね。この家庭薬まで乱売に巻き込んだんですから薬の世界は、これまた不思議ですよ。

小池 家庭薬がこれだけ永く続いている事実は、効能、安全性が良いものだということを立証していく、それぞれ特色のある商品なんですか

ら、もっと価格維持に努めたらと思

いますよ。

竜角散の特売は、昭和三十年頃、値上を機に、値上前の商品に限って特売をやったんですね。

特売で、特売発表の日に品切になり、その口に普通注文が入るというありました。それで、「水ま

し注文」が次回からくるようになりましてね。(笑)

竜角散は、ユニークな点があるからいいんですね。ラジオの時間帯を取りために、シーズンオフでも宣伝

を続け、「のど、声」を強調して夏

でも宣伝しているうちに、売上が平均化してきました。

家庭薬は、銘柄を大切にすること

特色を守ることで必ず永続しますよ。もともと、あんまり売れる目玉になりますがね。(笑)

玉野 うちの太田胃散は、今でも目玉商品として時には値崩れで弱っているんですよ。今は、大分直った

ようですが、小売屋さんも反省して下さればいいのですがね。

畑 亂売には、昔の業界のお歴々もずい分苦勞したもので、糞尿問題なんかで、先々代の社長も大変でした。

小池 同種同効品のある商品を、制限特売することは、却つてマイナスだというものが定説のようですね。

価格を安定させないと、お互に首を絞めることになりますよ。医薬品の本質からいって値段が浮動することは、消費者に不安感を与えることになります。

玉野 二重価格がいけないというので、安売りのお店では、多色版で印刷したビラに、何グラムいくらと書いて配るんです。

小池 神奈川の例ですが、安定協

売屋さん自身が困るんですからね。

玉野 亂売店から試買すると、いくらでも持ってくるんで、きりがないですよ。

箱根羊齒

石松子

特売日は、たいがい三日間で、それが過ぎると正常の値段に戻ります

がね。

畑 オトリ商品になる位でないといけないけれど。(笑)

玉野 ある面では、家庭薬業者は殻にとじこもっているような感じがするけどね。

友田 欧州では、メーカーが特長のある製品をじっくり育て上げているようですがね。我々も協力体制をとつて、大手メーカーと競い合わないようすべきでしょうね。

GMPで、原料から製品まで厳重に自己チェックできる生産体制を作らなければならぬよう、規制が強化されてきてます。第二の黒船時代に入ってきて、昭和五十年には

三亀松の絃錯覚に河鹿牙ゆ

商売仇老いて静かに水を打つ

命題を課せられているわけです。では、このへんで。

OBの皆様には益々ご健康にご留意の上家庭薬業界を見守っていただけ

かなかに冷ゆる彫刻「断絶」と

書いて配るんです。

小池 神奈川の例ですが、安定協

取るために、シーズ

広告自主規制

について

津村重孝

数えてみると今回でもう二十一回近く海外に行つたことになるのだが、それでも行く度に新しいことに気がつくというのは、それだけ勉強不足なのだともう思ふ。あるいはそれだけ外の国のこととは分り難いのだと自ら慰めてみたりしているところです。

実行について話が出たのは昨年の夏頃だったと思いますが、まず業界の方々の理解を得るのに時間を要し、大体の方が「なる程作つたらいいかもしれないなあ」と納得されたと思われたのはおよそ四月になつてからだと思います。

さて実施するとなると分らないことが沢山あります。幸いなことに広告全般の管理機構というか、監視する必要があるのでないかといった考えが漫然とではありますが起りつ

つあって、既に先進国である欧米を視察して来られた方も沢山おられます。そこでその方々のご意見を伺つたりしたのですが、「医薬品の広告」をどうチェックするかという具体的ないわば末端での取扱い方法については分つていよいよでした。

そこで「やはり我々で調査しよう」とチームを作ることになり新聞協会、民放連等と話し合つてみるとまちまちではありましたが一応かなりの反応があつて、最終的には、新聞社やテレビ局の分野から数名の方々の参加が決まり、割合に整まつたチームができたのでした。

前置きはこの位にして、すぐに本論に入りたいのですが欧米旅行のあとで記事を書こうとしてます困るのは”略称”です。どこで話をしても大概は略称で話をしますがそれを専門に扱っている者達には分つても一般には分らないものが多い上に、分りそうに思える略称、因に、FDA FTC等が果して読者に分るかどうか書き手である例えは私には判断し難いということもあるのです。こんなことを取立てていうのは、実は次のような話があるからです。

例えはOTC、といえば我々の間では一応大衆薬「OVER THE CO

のためご一覧願います。これまでひと安心しましたので早速略称入りで調査の実体に入りましょう。

ロンドンで最初に訪ねたのがP A G Bです。昨秋来日したホリス氏が準備を整えてくれてましたので安心していましたが、ホテルに着くなり部厚い資料を各々宛名を書いた大きな封筒に入れたのを渡されて緊張しましたが、正直言つて一行に対しこそを感じていた責任感の重みというか一種の不安感が薄らいで行つたこと

を覚えています。

UNTER DRUG] の略称と考えて使われるのですが、ある時、銀行員と話をしていてつい OTCと言つてしまつたのです。ところが、先方が分つたように領かれているので話を進めた処、どうも話がよく通じないのです。よく聞いてみると、金融関係の中では OTC とは即ち OVER THE COUNTER STOCKS の略称で、とりもなおさず店頭株のこととして使用されているのだそうで大笑いになりました。

余談になりますが、アメリカ政府機関の略称のうち、公認されているものは一覧表になつていて、それ以外のものを公文書に使用する時は、一々この略称は何を意味するかをその公文書中に書き込むようになつてゐるそうです。

ロンドンで最初に訪ねたのが P A G B です。昨秋来日したホリス氏が準備を整えてくれていましたので安心していましたが、ホテルに着くなり部厚い資料を各々宛名を書いた大きな封筒に入れたのを渡されて緊張しましたが、正直言つて一行に対しこそして感じていた責任感の重みというか一種の不安感が薄らいで行つたことを覚えていました。

ホリス氏なら、 P A G B なら、きちんとやつてくれるだろとうと信じてはいましたが、予想以上に上手く行きそうに思えたのです。その上、通訳をお願いした宮下姫が仲々の勉強家で、ホリス氏からの書類に事前に一通り目を通されるという用意周到さで、通訳そのものも完全でこの面から大変上手く行つたのです。

さてここでホリス氏が最初に言われたことは重要で、いわば自主規制の本質を衝いていると思われます。それは次の通りです。

のためご一覧願います。

これでひと安心しましたので早速略称入りで調査の実体に入りましたよ。

いになりました。
余談になりますが、アメリカ政府
機関の略称のうち、公認されている
ものは一覧表になっていて、それ以
外のものを公文書に使用する時は、
一々この略称は何を意味するかをそ
の公文書中に書き込むようになって
いるそうです。
そこでこの原稿に使う略称につい
ては、後にまとめておきますので念
通りです。

自主規制を行うには幾つかの前提
があります。これを要約すると次の
通りです。

さてここでホリス氏が最初に言わ
れたことは重要で、いわば自主規制
の本質を衝いていると思われます。
それは次の通りです。

- ① 任意規制は、国の規制に優るといふことをはつきり自覚するところ。

② 規制は、規約を作るだけでなく、組織を作つて実践しなければ意味をなさない。

③ メディアその他のグループと協力し、助け合うことが大切である。

④ コードは、定期的に且つ正規に改訂すること。

⑤ 一般国民の関心を得ることにもなるのだから、国とよく話し合い、無駄な統制を省くこと。

以上が自主規制を成功させる鍵です。

その後、日本と全く異った組織をもつTVの仕組を聞き、愈々CMフィルムのチェックを如何にしているかの説明に入ったのですが、これが驚いたことに、バルドウインという若い女性薬剤師が一人で任されて処理しているというのです。技術的なことで相談する必要があれば、医師である相談役に聞くし、重要な問題であれば予めコンサルタントに委嘱してある二名の開業医に相談することになつてゐるようです。しかし、とにかくこれだけの大きな権限を一人に任せて、やらせるということ

は、相互信頼が確立しているからに違なく、英國歴史を紐解かないまでも、英國人の世界制覇を可能にした一面をみたような気がしてとても羨やましいことだと思いました。

翌日訪ねたASAでは、民族のあり方が全く異なる英國の事情がよく分らなかつたので一寸時間はかかりましたが、医薬品広告の大部はPAGBのメンバーのものであり、これに関する苦情が来れば、全部PAGBに廻すというのですから我々の目的とは直接関係がないので説明は省略します。

さてベルリンでは、頗りにしていたバッハ氏の居所が分らずしばらくまごつきましたが、結局パレスホテルで宴会があることが分り時間ぎりぎりにすべり込みました。ドイツ大衆薬協会の年次大会が行われ、その晩餐会に招かれた訳です。ドイツ人といつても殆んどの人は、英語を話しますしとても楽しい会合でした。

翌日、ヘプカー氏を中心とした会合までの間に東ベルリンを訪問したのですが、これについては何れ別の機会に感想を書くとしても、一言でいえば、東西の雪解けが取沙汰されとはいますが、壁が薄くなつたのは西から東へのことであつて、東欧諸

國から西歐への壁は、なお、厳然と聳えているように思われます。今で、何人かの者が西への脱出に失敗して射殺され、その墓に真新しい花束が供えられていたことに深い悲しみを呼び起されたということだけをお伝えいたします。

ドイツについては、日本にも来られたバッハ氏の司会により、ヘプカーリ氏その他数名の熱心な解説がありました。ドイツ人の性質から言って「法律を詳細に決め、それに従うのが一番いいことである。また、たより甲斐のあるのは法律だけなのだからこれしかない」というのであります。

従つて自主規制とは、日本流でいえば、厚生省その他の監視事務が業界に委任されているようなものだ、といえばよいようです。

ドイツ人に言わせると、法律は完全なものであつて、解釈の相違などというトラブルはあり得ない、といふのですから、やはり国民性を見ないと分らないものだと思いました。

ドイツにはもう一日いたのですが、空港のストのため、午前中に人々会い、せっかくの土曜日が丸つぶれました。午後十一時過ぎにたどり着くといったトラブルに

は、団員一同にとつて大きな負担となつたことは否定できませんでしょう。

WHOも訪問しましたが、ここは開発途上国の援助に最大の興味があるということで、薬の広告等という全く先進国だけの問題といつていいようなことには、関心が少ないとのことでした。

パリへ移動するとすぐBVPを訪問し、アース氏に会いました。ここでは、事前審査と事後審査とを平行して行つており、事後審査で違反と認定された広告は、メディアに掲載禁止を通告するといった非常に強い形で行われているようでした。ストラスブルグのECの会議で、自主規制によるべきであると決定したのでフランスのメーカーも最近その必要性を認識しはじめたと言つておられる通り、BVPは強い国家の規制下にあるようでした。また、現在の制度に対する不満も手伝つて、あるいは近く規制方法の根本的改革があるのではないかと思われます。

翌日訪ねたAFSGPでは、大衆薬の在り方に次の二通りがあり、一つは、社会保険で事後払戻制度に該

当するものたゞしこれは広告不可である、二つは、保険による払戻はできないが、広告することの許可を得て自由に販売できるものとに分かれています。この選択は、メーカーにあらざることを知りました。しかし、医薬品広告は全て事前審査でとても厳しく、あるメーカーの見せてくれたC M フィルムは、イギリスでならOKのものが全然許可にならず、一年間も討論を繰り返した後、最近になってやっと完成したということで、コントを提出してから数ヶ月かかるのは普通だということでした。

連の所謂「ヤク」による害のことです。DRUG ABUSE という場合の DRUG は、日本語に訳せば医薬品ではなく、「ヤク」即ち麻薬類を指すのであって、小学生にまで広がってきているマリファナの害に対し、大げさにいえば全家庭が心痛しているといった感じです。

が、全く皮肉でなく狭い日本に幸いを感じました。

この特殊な前提と、薬の広告との間に因果関係があると思われているところに厳しい規制の発想がある訳です。また、薬の広告が多すぎて、安易に薬を使用することが、このよくなな「ヤク」の習慣と関係ありといふのが、条令設定論者を支えているのです。理論的には、この二つの命



最後に、アメリカを訪問したのですが、ご承知の通りアメリカではこの九月一日から厳しい自主規制をすると発表されています。その背景としては、煙草の前例通り、医薬品のTV広告禁止条令が制定されそうなると発表されています。その背景とAが、特に後に述べるような理由から、子供向きの番組と鎮静剤等神経

に作用する薬を広範囲にわたって対象とし、規定した訳です。

幸い日本は国土も狭いし、单一民族でもあり、歴史的に言つても麻薬にそまり難い民族である上に、ほぼ完全といつてい程麻薬対策が忠実に実行されています。勿論周囲が海であるという好条件もある訳です

学の所で特に多いといわれていますから、黒人問題を単純な人種差別として片付けてしまえない大きな問題がある訳です。国土が広大で砂漠もあり、その中には立派なハイウェイがあつてすぐに行けるし、至るところにマリファナが自生しているというのですから、アメリカの悩みが分るような気がします。

題即ち、薬の広告—薬の安易な使用癖と、マリファナの普及とは、全く因果関係はないといった研究結果は出ていますが、一般大衆の不安を解除くことはできないので、自主規制も止むを得ないのだといった主張を聞きました。何処の国にもそれなりの背景があつて、その上で一つの制度ができ上っているのだということを知つて戴きたいし、このことを今後も大いに主張し、その正しい理解の

が、全く皮肉でなく狭い日本に幸いを感じました。

この特殊な前提と、薬の広告との間に因果関係があると思われているところに厳しい規制の発想がある訳です。また、薬の広告が多すぎて、安易に薬を使用することが、このようない「ヤク」の習慣と関係ありといふのが、条令設定論者を支えているのです。理論的には、この二つの命

構を発足させたいと思っています。

上に立って、日本の自主規制はどうすべきかを考え、一日も早く審査機私としては、自主規制を成功させるためのもう一つの大きな前提条件が気になります。それは、広告を発案するメーカー自身に襟を正して欲しいということです。これこそ国民の信頼を得る途であり、ひいては広告の正しい発展、業界の繁栄、福祉国家への寄与等をもたらすものと確信します。また、新聞業界・TV業界・雑誌業界をはじめとして、広告エージェンシーの方々の協力と、行政

ASA : Advertising Standards Au- thority
WHO : World Health Organization
BVP : Bureau de Verification de la Publicité
AESGP : European Proprietary Association
NAB : National Association of Br- oadcasters
PA : Proprietary Association

OTC : Over the Counter
PAGB : Proprietary Association
of Great Britain

合の確立に尽力を投入したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。（津村順天堂・副社長）

レジエンシーの方々の協力と、行政当局の理解を得て、健全な医薬品広告の確立に全力を投じることと思つ

します。また、新聞業界・TV業界・雑誌業界をはじめとして、広告エ

信赖を得る途であり、ひいては広告の正しい发展、業界の繁栄、福祉国家への寄与等をもたらすものと確信

するメーカー 자체に襟を正して欲しいということです。これこそ国民の言ふと尋ねる金であり、今、これは玄言

ためのもう一つの大きな前提条件が
気になります。それは、広告を発案

構を発足させたいと思っています
このような結論を得たのですが、
私としては、自主規制を成功させる

上に立って、日本の自主規制はどうすべきかを考え、一日も早く審査機構を確立させたいと思っております。

園遊会に招か

れて

山 崎 栄 二

五月十八日（金）、天皇陛下より園遊会のお招きを戴き、赤坂御苑へ家内と同道で伺いました。

会場には多数の有名人が出席され、夫々国家に功勞のある方々で、報道関係の方々も盛んにフラッシュ的缘をたいていました。

私共夫妻にとりましては、両陛下にお招き頂くだけで、大変感激しておりまして、一日両陛下を、拝むことが出来れば幸いと存じまして、会場の隅の方に参列しておりました。やがて、君か代の齊唱が始まり、天皇、皇后両陛下がお出ましになりました。順次参加者にご会釈に廻られました。

狭い遊歩道を通って、やがて私共の所へお越し戴きましたので、最敬礼してお迎え申し上げましたところ、侍従の方が、「この方は、金冠

堂の社長で、キンカンという薬を製造しています」と紹介くださいました。皇后様から、「虫さされのキンカンですね」とお言葉を賜りました。

現在の私にとりまして最大の関心事は、今年七月にイスラエルに行き、同国の建国二十五周年記念に当たり、日本の民族芸能団のお招きを外務省を通じて受けておりまして、私が団長としてその責任を立派に果すことあります。

その旨陛下に言上申上げましたところ、「ホー、イスラエルは暑いよ」とのお言葉を賜り、また、皇后様も「大事にしてください」とのお言葉を賜りました。

両陛下のあとに、常陸宮両殿下、秩父宮妃殿下、三笠宮妃殿下と、ご会釈に続かれました。

常陸宮両殿下とは、福祉法人大久保学園に五〇〇万円の寄附をいたしました際、その開園式でお目にかかりまして、妃殿下から「大丈夫、私共の周りに沢山の方々が集まつてまいりました。

周囲にも多勢の人々が居りましたが、両陛下を初めとして各殿下よし、お言葉を賜りましたのは私だけです」と、言わされました。



（金冠堂社長）

（株）千葉実母散

宝物拝見の記

私の家内は近年身体の不調で、小父宮妃殿下とはライオンズクラブ会長当時、日赤に乗用車を二台寄贈し、その寄贈式の折、お目にかかる、侍従の方が、「この方は、金冠

お世話になりました」と、お言葉を賜りました。そして三笠宮妃殿下は、昨年私が実行委員長となつて開催した日本国際民族芸能祭の総裁を、三笠宮殿下に就任して戴いて居りまして、今回イスラエルから帰りまして、今回イスラエルから帰りまして、特にご恩懐にして戴いて居りました。詳細ご報告に參上する旨申し上げました、「殿下は日大に先約がありましてお越しになれませんが、ございました」とお伝え申し上げました。常陸宮両殿下によし、お言葉を賜りました。

イスラエルへ行くことが、いかに重大な事柄かを深く痛感すると共に、皆様から今日迄私を引立てて戴いたからこそ今日の私があることを思い、改めて皆様に厚く感謝申し上げる次第でございます。

私の生涯にとりまして、最良の日があつたことを謹んでご報告申し上げます。

尊顔を拝するだけの気持で来ましたのに、有難いお言葉まで頂戴して、二人共、大変な感激にむせんだ次第であります。

私の生涯にとりまして、最良の日があつたことを謹んでご報告申し上げます。



踊り大黒天

利を踏んで別棟となっています。恒温恒湿の耐震耐火の近代建築で、胤頬氏の徒弟である一級建築士の手になるものと聞きました。

重い鉄扉には、先祖伝來の家紋である笛竜胆がきらめきます。この扉を排しますと、五百年の歴史の匂と厚みが身をつきます。タイムトンネルの中に入ったようです。

順を追つて右から目を移しますといやでも目に入る漆黒の、ずつしり厚い看板があります。日本最古の看板と称されるもので、徳川家康の真筆です。上部に燐とかがやく菊花御紋章は享保年間に使用を許されたもので、御紋章御免の御墨附も残ってます。京都嵯峨御所の御用を蒙り上包並に看板に菊花御紋章御免の由上包並に看板に菊花御紋章御免の由上包並に看板に菊花御紋章御免の由

隣にある風格豊かな木像は、先代
三十三世千葉良海の座像で、高村光
太郎の作品です。左の茶釜は祖先の
千葉勘兵衛が京都大徳寺山門修理に
あたって、玄米百石を寄進し、その
お返しとして頂いたもので、一休禪
師の常用の品です。

壁面に四幅の絵伝が見えますが、
親鸞上人の一代記を土佐光起が画い
たものといわれています。その下に
古色蒼然たる恵比寿、大黒が寄り添
っています。中橋のお店に左甚五郎
が寄寓していく、三年の後、感謝の
気持から彫って置いて行つたという
ことです。厨子は大震災で焼失しま
した。慈円僧都の書がありますが、
まことに風雅な書体で、その人柄が
偲ばれます。「わが恋は松をしぐれ
にそめかねてまくづが原に風さわぐ
なり」と読めます。

金色の厨子が四つ並んでいて、右
のは千葉時胤が、親鸞上人から差切
歯を頂き、それを納めたという尊像
で、次のは十一面觀音です。一寸八
分といいますから、浅草の觀音様と
同じ大きさですが、指の先にも乗り
そうな可愛いものです。閻浮提金
(えんぶだごん)といつて、インド



徳川家康の筆による看板

隣の厨子の中に安置されてあるのは蓮如上人作の阿弥陀仏です。さて、正面へ廻りますと、堂々たる三尊仏が堂を一段と耀かしいものにしています。中央の来迎の阿弥陀仏は、極楽からお迎えのすがたです。やや前傾なのに、安定しているのは、蓮台の花弁がスプリングの役目をしているためで、関東大震災にびくともしなかつたそれです。切金彩色という手法で、金箔を切つて張ってあります。なお、指と指の間が水搔きのようになっているのは、衆生をもれなく救うという意味が含まれています。

両側の菩薩は向つて右が觀世音、左側が勢至で、阿弥陀様よりやや小ぶりです。

左に善道大師と法然上人の坐像にはさまれている四方塔は、これまた美しいもので、中に釈尊説法の金銅仏が安置されています。

壁に祐天聖人の真筆で六字の名号がありますが、それと並んで異様なものがありました。よく見ると女性の着物の袖です。千葉之介常胤の奥方が実は天女だったのだそうです。七人の子供が生まれて、お目出度いといつて、奥方が舞っているうちに天へあがりかけたので、常胤があわ

て、その袖をおされたところ、片袖がちぎれ、奥方はそのまま昇天してしまったといいます。「七人の子はなすとも」と昔からいわれている格言をひそかに思い浮かべた委員の方もあるかも知れません。

つづいて、壁面にぎっしり幅物がかかっています。親鸞上人の画像、親鸞上人と蓮如上人の書かれた六字の名号で、法恩寺の鑑定書が付いています。これだけでも、お寺さんが見たらきっと垂涎ものでしょう。

下の厨子の中には、一つは高村光雲作の十一面觀世音、その隣りは難陀龍王、次は湛慶作の聖徳太子の像ですが、この厨子は奈良時代の作といわれ、静かな落付きを湛えています。最後の丸い感じの厨子の中を見きますと、童顔の大黒天なのです。小型ながら、片足を上げて踊っている姿は、まことに躍動的です。梅雨のある日、偶然に「空海」の銘が現れたのだそうです。可愛らしく、好みの作品です。

宝物の数々に圧倒され、いささか疲れた編集委員は宝物殿を出ますと夏の陽が庭樹を照りかえし、眩しく身をつつみます。

美しく刈りこまれた芝生に面した大広間に招じられ、胤頬氏ご夫妻の

お手料理を頂いて、充実した満足感で辞去了しました。

薬とともに

(その十四)

松田金之助

戦中住みなれた吾が家を後にして故郷へまたは知人を求めて疎開した方々も戦争が終ると東京の焼けあと

の古巣を慕って帰つて来る人々も多くなつて來た。

活氣溢れる駅前のヤミ市場や手早く立ち上がりバーラックを建てた人もちらほらある。細々ながら戦前の仕事に戻る人もいて今まで焼けあと

を勝手に掘りかえして畠作りしていきた場所に所々繩が張られる様になり始めた。

幸にして、いの一番で手を打つて「御宅で引取ったらどうか」と芝浦で開業されている取引先の吉岡薬局さんより知らせがあった。早速引取る事にしたものの黒人部隊がうずまくその中ヘリヤカーを引いて出かけたが、その怖さも忘れて芝浦と愛宕町を十有余回ピストン輸送し、前線の黒人部隊のその中で今考

との一軒家、夜ともなると何となく淋しさで一杯でした。ガスもなし、水道もなく、当然電気もつかない。

焼けあとや強制疎開の学校の電柱も電線もやみで求めて漸くにしてつく様になつた。

さて仕事と申しても何もかもないものづくりで午前中リヤカーを引いて、今考へて見ると夢の様です。

玉置石松子

ヨシの體から

(1) パリの薬局・ジュネーブの薬局

パリの薬局は、たいがい、街角を占めていて、見やすい十字の看板がついています。店内は、どこでも清潔で、ごちやごちやしていないで、すっきりしています。化粧品をなべてある所もありますし、可愛い女のコを置いて、コーヒーショップを

えても身の毛のよだつ思いである。売る品がなくて困っていた矢先、こ

の珍品で活気がついてきた。一ケ円で売り始めたが、とぶ様に売れ、二円でも、三円でもと値段に糸目をつけず全部ほしがる人も現れ、結局、五百円で引き取つた一箱は、一万円の値がついて、三日程でおしまいになつてしまつた。

引き取る時は、非常に困難したがそのおかげで、ちょっとした仕事になりました。

兼ねている粋なお店もござります。

中には「加美乃素」を置いてある所

もあって、びっくりいたしました。

ジユネーブでは、水が変わったで

もいうのでしようか、急に湿疹が出

て、痒くてたまりません。しかし、

そのおかげで、スイスの薬局を見学

する機会に恵みました。

パリと同じように、十字の看板は

出ていますが、これがスイス国旗の

十字と紛らわしく、ちょっとまごつ

きます。

薬局が閉店してから痒くなっています

たので、ホテルの支配人が、愛想よ

く、夜間も開いている薬局を教えて

くれて、メモに湿疹の薬を渡すよう

にと書いて、娘にくれました。

その薬局は、老夫婦の経営で、大

変深切で、何度も説明してくれたそ

うです。

娘は、日本の薬局のイメージとあ

まりにも違うので、感激して帰って

きました。

実際に清潔で、清楚で、応待には権

威と品格が漂っているといつていま

した。たんに、国民性と片づけてし

もうだけの要素ではなさそうです。

私も、翌日、別の薬局に寄つて見

ました。やはり、清潔で、品位があ

り、行き届いた説明をしてくれまし

た。そういうえば、空港にも、清潔な
薬局があって、スイスの第一印象を
清々しく高めてくれたのかも知れま
せん。やはり、さすがはWHOのお
膝もとだけのことはある、と感じ入
ったわけでした。

スイスだけでなく、水のきれいな
国の人々は、心も美しい、というこ
とに気がつきました。逆に、心がき
れいだから、水をきれいに保てるの
くなら、庭を持たない家庭が植えて
います。パリと違うことは、ジユネ
ーブと違うことは、祖国の水を、緑
を、気前よく葬り、破壊し、汚して
いることでした。

日本でも、マンション住まいが多く
なり、庭を持たない家庭が植えて
います。パリと違うことは、ジユネ
ーブと違うことは、ほかにもあった
かもしれません。小さいながら、ずっと重
いのは、ブロンズ製だからでしょう
か。欲しいものは、ほかにもあった
のですが、時間がないので、この乳
鉢だけを買いました。高さは三セン
チ、外径は二・五センチ、ことによ
ると、世界最小といえそうです。

翌日は、デパートで、ガラス製の
乳鉢を見つけました。内部は球面で
すが、外側は円筒型で、安定してい
ます。いかにも使いよさそうです。使
う身になつて作ったという感じがし
ます。これだと、押えつけていなく
ても、ぐらぐらしません。美しいの
ものが、水晶のように耀いていま
す。硝子の生産国として、抽きんで
いる風格があるのです。

スエーデンの王宮、といえばいか
めしく聞こえますが、いたって気楽
な感じでした。正門には大砲を四門
ばかり据えて、一応武備を固めてい
るよう見えますが、横へ廻ると、
兵隊が女の腰に手を廻していました。
て、ちょっと平和の行き過ぎのよう
な印象を受けました。

王宮は、小高い丘の上に在つて、
王宮へ通ずる道は、石畳が美しく、
ゆるい坂になっています。道幅は広
くなく、狭くなく、勾配も、ぶらぶ
ら歩きに変化をつけてくれる程度で
す。許されるならば、ストックホル
ムの町で暮したい、とひそかに妄想
したほどの好もしさでした。

その道の一つを、だらだら降りて
みました。可愛い喫茶店のようなお
店のウインドウを覗くと、民芸品ら
しいものが見えたので、扉を押して
入ってみました。スエーデンの特産
品をこじんまりと並べてあります。

パリの人達は、ほとんどアパート
住まい、庭を持つてゐる人は市内
にはいないそうです。しかし、それ
故にこそ、水を、緑を大切にしてい
るように感じました。

日本でも、マンション住まいが多
くなら、庭を持たない家庭が植えて
います。パリと違うことは、ジユネ
ーブと違うことは、ほかにもあった
かもしれません。小さいながら、ずっと重
いのは、ブロンズ製だからでしょう
か。欲しいものは、ほかにもあった
のですが、時間がないので、この乳
鉢だけを買いました。高さは三セン
チ、外径は二・五センチ、ことによ
ると、世界最小といえそうです。

した。ふと、木村雄四郎博士のコレクションを想い出しました。

パリはサン・ジエルマンの丘の上、画家?の卵たちが、自分の作品をひろげ、並べて売っている一割があります。どうみても、この中から大画家が出るとは考えられない画ばかりでした。

こここの土産物屋は、駄物ばかり



フォンテンブルーで買った乳鉢

で値切る語学力のない悲しさ、馬鹿で承知で買つてきました。

パリの郊外、フォンテンブルーの離宮を見に行ったとき、昼食後のひと刻を、きれいな町をちょっとびり散歩しました。

小さな骨董屋がありましたのでひやかしに入りました。

主人は奥の方にいて、店番をして

いるのはきれいな娘さんです。

煤ぼけた乳鉢が二つ見つかりました。小さい方は若くて、気に入りました。大きな方は時代はありますが、ちよつと重いので、こんなものを旅行中持つて歩くのは億劫だし、と躊躇していましたら、娘が、運搬して上げるからというので、思い切って買いました。

帰宅して、秤つてみると、何と五キロもあります。よくも併せて帰つたものだ、とわながら感心しました。

で、日光東照宮門前の土産物屋という感じです。ひやかしに入つてみると、棚の上に、乳鉢がありました。乳鉢の形はしていませんが、うすっぺらの金属製です。

おまけに値段の三十五フランは安くありません。しかし、フランス語

(アキラ旅行記) その三

津村順天堂
津 村 昭

ホンコン食べ歩き

二、三年前までは料理は台湾の方がおいしいと想えていた。しかしここ

が一、二年のうちにホンコンをみなおした感じで、やはり手が込んでおい複雑な味わいがある点で、高級中華はホンコンの方がよいようであると結論を出した。魚類しか食べる気がしないがこの種類の店はやたらに

あり、大体はおいしい。混みあつてある所が特によい。孟海鮮と書いてあるのは新鮮な魚類という意味である。魚と言えば、ホンコン名物のアバディーンが頭に浮かぶ。アバディ

ーンをけなす人もいるが私はやはり

おいしいと思うし、名物であるから一度は行くべきであると思うが値段は街の約二倍はするようだ。最近ジヤンボが一層増えて三軒になったがこの前行った時には一階全部に日本人の団体がいて、びっくりした。そ

の昔は、外へ出て魚を選びゆっくり食べたものだが今ではあまりそれをする人もいないようで、雰囲気はまったくガサガサしたものになってしまったが味の方は大丈夫と思つた。一般に、「あそこはまずい」と言う場合、人の選んだものを食べて嫌いな物が多かつたりして「まずかった」と決めていることが真相のようである。日本人のメニュー選びの下手なことは驚くべきで「貴方と同じもの」「まかせる」「早く出来るもの」「定食」が日本人一般のお好みである。少なくともディナーは、自分で一応メニューを見る事。

ホンコンなら必ず英語入りメニューがあるからみて見るなり、自分の希望を述べるのがよい。

そうすることによってそのディナーをエンジョイ出来るかどうかが決まるようである。むろん最近は土地の人も日本人の好みをよく承知していて、まかせてよい場合も多い。参考までにアバディーンの「定食」はやめた方がよい。大体中国人の人達の注文の仕方をみてると、先ず材料を選んで、それを蒸してくれとか焼いてくれとか好きな料理方法で頼んでいるようである。

メニューにカニの蒸物となつてい

ても、油で揚げてもくれるし、他の方法でも注文さえすればやるようである。特に、オソバ、ヤキメシ等は中に入れる具は好み次第で、エビ、鳥、豚、牛、とメニューにあった場合エビと豚と野菜を入れてくれといつてもそれが普通であっていいやな顔をしたり断つたりはしない。さすがは中華料理だと思う。

日本でエビ、鳥入りのチャーハン等といったら必ず断わられるのではないかだろうか。ホンコンでも小さいエビをゆでたのがおいしい。又無い時が多いのだが、カニのハサミだけを土鍋で油蒸にしたのもおいしい。カニのハサミはいわゆるロブスターのハサミのように太っていて身が多い。日本には無い種類だと思う。GAROUPAという魚である。私は好きで黒ミソをのせて蒸したのが特によい。これも日本ではない。伊勢エビもあるのだがどういうわけかこれは冷たくした洋食式の料理でしかお目にかかるない。日本人の好み「フカのヒレ」についてであるが、これは料理屋によって大変味が違う。よい店を選ぶのが先決だ。アバディーンの他は店の名前を覚えていないのもっぱら料理について

述べる。アバディーンスタイルの店が九竜側にある。ここは魚を漁船まで買いに行って、アバディーン式の船までつて帰り、料理してもらう事も出来る。あまり人が行かないで面白いかも知れない。汽車に乗り少しだけ所にシャテンという所があり、豆腐が世界一うまいといわれる。確かにおいしいが、所詮豆腐であり、界第一かどうかはあまり問題にならない。

日本人の口にあうもので羊のシャブシャブがある。薄く切った羊の肉を五枚位小さい手のついたザルに入れて、お鍋の熱湯の中をサッと通して食べるのである。

牛、鳥、カキ、エビもあるが羊ほどにはおいしくない。羊と豆腐と一千程の野菜でやるのが一番よい。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要で坐わるとまずゴマのたれを中にして調味料が出てこれを好きなようにすければいい事はないようである。少しあがての類で高級なのは熊の手が有名なサルの脳ミソは今はない。この種類の有名料理ではネズミの子をミツにつけて食べるはどうか

I、F.O.V等は辛口の方向き。昔から有名なサルの脳ミソは今はない。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要な意味がある。少しあがての類で高級なのは熊の手が有名なサルの脳ミソは今はない。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要な意味がある。少しあがての類で高級なのは熊の手

そうで確かに悪くはないが強いので述べる。アバディーンスタイルの店

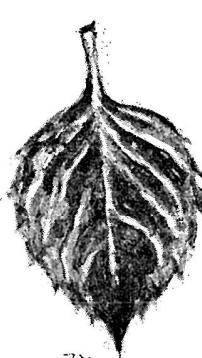
中国の人は精力のつく食べ物が好きで、説明を聞くと何でも精力に結びつけておもしろい。これも精がつく、これも、これもと何でも精がつかない。焼酎を呑く、強くした様なもの

が九竜側にある。ここは魚を漁船まで買いに行って、アバディーン式の船までつて帰り、料理してもらう事も出来る。あまり人が行かないで、国交回復以来、日本人の購入者マオタイ酒ばかりはおすすめできない。焼酎を呑く、強くした様なもの

がふえ以前の倍に値上がりしたそうで、面白いかも知れない。汽車に乗車して少し行った所にシャテンという所があり、豆腐が世界一うまいといわれる。確かにおいしいが、所詮豆腐であり、界第一かどうかはあまり問題にならない。

日本人の口にあうもので羊のシャブシャブがある。薄く切った羊の肉を五枚位小さい手のついたザルに入れて、お鍋の熱湯の中をサッと通して食べるのである。

い飲まれるとよい。ブランデーならやはりクリュボアジエがよい。ヘネシ



I、F.O.V等は辛口の方向き。昔から有名なサルの脳ミソは今はない。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要な意味がある。少しあがての類で高級なのは熊の手が有名なサルの脳ミソは今はない。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要な意味がある。少しあがての類で高級なのは熊の手

を入れてぐつとのみくだす。最高に場合には生きているヘビをもつてその場でキモを取りだしお酒の中に入れてぐつとのみくだす。最高に目に良いとの事。もちろん肉も食べるが鳥肉のようであまり特別な味は次はヘビの話であるが、これは大変色々な種類があるようだ。高級な場合には生きているヘビをもつてその場でキモを取りだしお酒の中に入れぐつとのみくだす。最高に目に良いとの事。もちろん肉も食べるが鳥肉のようであまり特別な味はしない。

ヘビには必ず菊の花びらを添えすればいい事はないようである。少しあがての類で高級なのは熊の手が有名なサルの脳ミソは今はない。この店はかなり軒数があるが、私はミラマーホテルの前の通りを不イザンロードと反対の方向に一キロの所へよく行く。この料理はそれが重要な意味がある。少しあがての類で高級なのは熊の手

のは毒蛇のみで、キモは三種以上ませてある。いずれにせよもなく不可もない味である。タヌキの料理が

時々あり、この鍋はおいしい。

マカオ有名な店があり、椅子の上に変な小さい脚たつを置き鍋が大体膝の位置にくるような高さで食べる。油がとばないようしているのかどうかよく理由はわからないが鍋をつつくという感じが出る。

台湾ではヘビの毒を飲ませる所があるそうで、毒ヘビにコップをかませ、その毒がコップについたものを酒にまぜて飲むのである。大精力剤だというが、口内や歯等に傷のある人は毒に犯される可能性ありといふ。ついでながらちゃんと解毒剤はおいてあるということだ。

ゲテものではないが、大きい宴会だと必ず小豚の丸焼きが出る。皮だけ食べるのであるが、有名な北京ダックみたいであるがダックよりおいしく。

ゲテものでよく話に出るのは犬である。日本と同じ赤犬がよく、大変香りのあるもので、料理すれば必ず近所にわかるということだ。

しかし体力の強い人が食べればなし

強くなり弱い人には害になるそうで

ある。

ヒルトンもよい安いのは J I M Y

この期に際し総務委員としては、

中華料理には海草も多い。ツバメの巣がそうであるが何の味もしない。時々アラスカでとれたコケとか、一斤20万円の淡水の草とか食べる。

が、日本の海苔の方がずっとおいしい。ホンコンは広東料理が主体でたが、日本の海苔の方がずっとおい

しい。ホンコンは広東料理が主体であるが、北京、潮州、四川等もあり、潮

洲料理は田舎っぽくて白いおかゆがあり、ピータンとか塩漬の魚等をおかげで食べる。アヒルの血をゼリー状に固めたものが潮州料理にあり、私は好きである。広東式もおかゆがある。かなりの時間煮てあり米つぶが殆んど溶けるほどどろどろで、おもゆに近い。中に色々具が入るもの

広東式である。どの料理も安くておいしいホンコンだが、愛想の悪いことは天下一で、お皿は投げ出しだと終った後テーブルクロスで全部一からげに包んで持つて行くダイナミックさである。



△ 委員会だより △

総務委員会

藤井得三郎

新年度に入り、総務委員長として一言申し上げます。

我が東京都家庭薬工業協同組合も

SE P I C K L E S なんて言つて食べる事がないので CHINE

年を経るに従い益々成長して若き世代の人があなたとして第一線に出て

こられたことは、誠に喜ぶべき現象

で、組合全体の空気も非常に若々しくなり元氣溌剌たる様子をみますこ

す。

財務委員会

中尾義隆

薬効再評価対策、GMP設定、製造承認許可問題等々、大衆薬業界には、幾多の問題を抱えております。

これ等諸般の問題を、解決処理するには、委員会活動を活発にして、積極的に事業計画を推進することであると存じます。

予算面において特に重視しておりますのが、委員会費でありまして、例年増額を計画してまいりました。

協同組合の性格上、余剰な資金は必

要としませんが、昨今はご承知の様に、諸物価が著しく増額し、組合の財政にも大きな影響を与えておりま

各委員会の計画及び実行に協力してその成果をもたらすよう努力いたし

たく考えるのであります。

幸い各委員諸氏の理解も深く、当

委員会の指示を受け入れて下さることは、組合の成長を助くる唯一の方法と考える次第であります。また、かくあるべきと念願して新年度の抱負を申し述べた次第であります。

、貸室料の値上げを交渉し、五月から正式に値上げが決定致しております。

して、若干でもご負担の軽減が出来ます様配慮してございます。

特に貸室料収入があることは、同

業他団体の賦課金と比較して、当組合の賦課金がそれだけ軽減されているのでございます。

事務局の会計処理については、毎月定期に検査し、支出支払に当つては、その都度報告を受け、確認しております。

前年度の賦課金入金状況は、年度末において、九十九%強の高い率を示しておりますが、今年は会員の皆様のご協力により、何とか一〇〇%入金が出来る様に、特にお願い致したいと存じます。

またご承知の様に協同組合の会員会社は、中小企業金融公庫から、融資を受ける資格がありますので、是非共ご利用されることが得策と存じます。

薬事委員会

藤井 康男

今さらに申し上げるまでもなく、諸般の情勢から薬事委員会の責務はますます重くなるばかりであります。去年までの事情に統いて本年は

胃腸薬の承認基準という大きな問題

が目前に控えており、またGMPに端を発するJGM-P制定の大仕事が加わっております。

この時にあたり当委員として主戦級投手である堀内伊太郎商店の唐崎

さんが営業部長という要職につかれることは、戦力の上では大変手痛いのですが有力な他のメンバーのお力を借りて難局をのり切つて行く決心でおります。

また、一般の組合員の方々にも刻々変化する情勢をお知らせするためセミナーのようなものも考えております。

厚生委員会

山崎 栄二

当委員会の活動目標は、組合員六十数社の親睦を図り、相互信頼と团结により、当面する業界の諸問題に對処し得る、原動力の涵養であると思ひます。

ここ数年の間、当委員会の実施し

た行事は、ゴルフ会(TKGC)、暮会の開催、そして春秋二回の恒例による懇親旅行会等でございまして、序々に親睦の実をあげつかります。

広告委員会

太田 昭

け、毎月実施致しております。

しかしながら、これ等の行事にいものはない。

大衆薬が病人にとつて極めてありが必要であります。もっと広く参

加の呼びかけを、致したいと存じま

す。今年は以下の所、特別な企画を考えておりませんが、組合員の皆様方のご希望があれば、どしどしご意見を賜りまして、委員会で検討致した

いと存じます。

当委員会定例行事

一、ゴルフ会(TKGC)

毎奇数月開催 年六回

年会費 六、〇〇〇円

定例会費 三、〇〇〇円

年三回開催

一、東京家庭薬暮会

年会費 二、〇〇〇円

定例会費 一、五〇〇円

一、民謡研究会

毎月第二金曜午後四時三〇分開催

年会費 五、〇〇〇円

以上ご希望の方は、いづれも組合事務局まで、お申込み下さいます

このマスコミ広告は、薬局店頭での説明のようなことは出来ないかも知れないが、メーカーの責任に於て製剤の特色を短時間により多くの人により早く伝えることが出来る長所がある。このマスコミ広告はメーカーの押しつけ広告ではなくあくまでも大衆の選択のための予備知識でなければならない。そしてその広告は眞実をそのまま伝えるものでなくてはならない。と云つて能書の羅列では訴求力に乏しく、その広告表現は誠

にむずかしいと云わねばならない。

例えは肖像画が実際の写真よりも

しるその人を彷彿とさせるように、

表現技術によって実物をよりよく説

明出来る場合が多い。しかも大衆薬

には古い歴史を持ったものが多く、

その歴史的事実を語ることによつて、

その製剤の利点を説明出来る

こともある。要は大衆の利益となる

広告をすべきであり、企業の一人よ

がりの広告は強く批判されることに

なる。広告表現技術が薬の場合、特

に要求され、しかもむずかしいもの

であることは、制作者ならずとも、う

なづけるところである。最近、日薬連

の広告審議会において医薬品広告の

自主規制機関の設置が積極的に検討

されているが、この際薬の広告表現

の解釈を第三者を交えて根本的に見

直すべきではなかろうか。そして、医

薬品の特殊性と現社会情勢に対する

配慮を欠かさない限り、大衆薬の広

告がいたずらに萎縮して、大衆の真

の利益が失われるようなことがあつ

てはならないであろう。本年度の当

広告委員会は、眞に大衆の利益とな

る大衆薬広告のあり方について勉強

し会員会社の宣伝業務のお役に立

つ活動を行つてゆきたいと考える次

第である。

事務局だより

懇親会

六月八日東京都家庭薬工業協同組

合懇親会を奥湯河原加満田で開催致

しました。

午前十一時より一時まで理事会を

開催、午後一時より午後五時まで同

好の志による懇親麻雀大会及び民謡

講習会を開催、午後六時より懇親会

を開催、翌朝、朝食後解散した。

参加者四十名であった六月九日は

有志による湯ヶ原カントリークラブ

で懇親ゴルフ大会を開催致しました。

ト 計報

■ 東京都家庭薬工業協同組合元理事

株式会社東京甲子社、社長田中敏明

氏は病氣の為昭和四十八年五月廿一

日逝去されました。

葬儀は五月廿四日、日本淘道会館

で執行されました。

■ 東京都家庭薬工業協同組合会員、

養命酒製造株式会社、社長、塩沢総

同 同 菊谷 勝殿（竜角散）

葬儀は六月十三日、青山葬儀所で

了。執行されました。

■ 東京御睦会、東京薬友会会員、株

会社林貞一商店、社長、林貞一氏は病氣の為九月四日逝去されました。

葬儀は称福寺で執行されました。

各業界だより

（東京薬友会）

○七月一日午前九時三十分より大正

大学に於いて第二十三回卓球大会を開催した。参加チームは十七チー

ム、個人戦は八十五名が参加、熱戦

の末左記戦績を以つて終了した。

団体戦

優勝 ニチバンA殿

準優勝 久光 A殿

三位 養命酒 A殿

同 竜角散 A殿

個人戦

優勝 石丸 誠殿（久光製薬）

準優勝 高橋 幸雄殿（太田胃散）

三位 赤嶺義治殿（太田胃散）

同 早坂義雄殿（養命酒製造）

四位 品田哲郎殿（エスエス）

同 亘 健一殿（太田胃散）

同 清水 茂殿（エスエス）

○七月十一日午後六時より吾妻橋の

ニユーアサヒで恒例の懇親ビールパ

ーテーを開催、参加人員は六十名、

午後八時盛会裡に散会した。

○九月八日午後二時より千代田区神

田須田町「花灯」に於いて参加者四

十名により麻雀大会を開催致しました。入賞者は左記通りとなりましたので御報告申上げます。

二等 十八七 西村正七（西村成天堂）

商店

三等 十六〇 塚本範男（津村順天堂）

四等 十四六 鴨下幸正（大木製薬）

五等 十四一 島田一男（双葉製薬）

六等 十四〇 加藤良一（町田製薬）

六等 十四〇 山下昭夫（堀内伊太郎

商店）

○九月廿九日府中のサントリービー

ル工場を会員約六十名が見学の予定

○十一月四日より十二月二日迄毎日

曜日に二十二チームが神宮外苑グラ

ンドにて軟式野球大会を開催の予定

○十一月廿日神田明神会館に於いて

薬祖神祭を行う予定

かていやく 第二十七号

東京都家庭薬工業協同組合会報

昭和四十八年九月二十五日発行

編集・印刷・発行

東京都家庭薬工業協同組合

電話（五四三）一七八六